

# 宮城県の各自治体に対し、ゲノム編集トマトの 受け取り拒否を求める要望書を提出します

ゲノム編集食品は安全性を確かめる調査もなく、私たちが選んで食べる権利を保障する表示義務もないまま、一般の流通が始まっています。

その上、教育や活動の一環としてゲノム編集トマト苗が提供されれば、子どもたちや障がい者福祉施設の利用者の方々は選択の余地なくゲノム編集トマトを育て、口にする事が予想されます。

私たち食ベママみやぎ・あいコープみやぎでは、知らぬ間にゲノム編集作物が教育や福祉の現場で用いられることがない様、宮城県内の各自治体に対し、右ページの要望書と各自治体の意向を問う回答書を送付する事にしました。

## ◆この要望書提出に賛同する団体・個人を広く募集します。

自治体からしっかりとした回答を頂くためにも、たくさんの方の後押しが必要です。要望書に、賛同者のお名前を記載し各自治体に提出いたします。

## ◆すでに北海道をはじめ、他県でも同様の要望書提出が広がっています

各地で同様の活動が広がっています。一番初めに取り組まれた北海道では179自治体に送付し、3割から受け取らないとの回答を得ています。(北海道食といのちの会発表より)この活動自体が多くの方にゲノム編集について投げかけする機会となっています。



切り取り

宮城県各自治体への要望書および回答書提出に賛同する方は、以下の用紙にご記入の上、配送で日の出町センターまでご返送下さい。

※切:2月25日 紛失防止のため、封筒に入れて注文書に留めるなどのご協力をお願いします。

私は、宮城県内各自治体首長および教育委員会に対する要望書「貴自治体の福祉施設や教育施設において、ゲノム編集トマトの種苗を受け取らないでください」の提出と回答書送付に賛同します。

お名前	お住まい(市町村まで)	要望書への氏名掲載
		可 ・ 不可
		可 ・ 不可
		可 ・ 不可
		可 ・ 不可
		可 ・ 不可

※要望書への氏名掲載について印のない方はお名前を掲載させて頂きますのでご了承下さい。

## 【要望書全文】

貴自治体の福祉施設や教育施設において、  
ゲノム編集トマトの種苗を受け取らないでください

パイオニアエコサイエンス社は、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の種苗を、福祉施設や教育施設へ無償配布する計画を発表しました。福祉施設への配布は2022年、教育施設は2023年に開始するとのことです。

ゲノム編集技術は、特定の標的遺伝子を破壊して行う生命の改造です。標的以外の様々な遺伝子を破壊してしまう「オフターゲット」現象がしばしば起きるし、標的の遺伝子を破壊できても、その「オンターゲット(遺伝子への連続攻撃)」による染色体破砕など、新たな問題が明らかになってきています。無差別な遺伝子の破壊により、新たな毒性やアレルゲン、がん誘発物質の発生が危惧されます。

遺伝子は生命活動の基本であり、全体が連関しており、壊してよい遺伝子などありません。また、ゲノム編集が行われたことを確認するための抗生物質耐性遺伝子も含まれているため、抗生物質耐性菌が増える危険があります。遺伝子組み換え食品と同等もしくは、それ以上の危険性を指摘する研究者もいます。

ゲノム編集技術の開放系(実験室外)への放出と食品応用には本来、厳格な検査と規制が必要です。にもかかわらず日本政府は、環境影響評価や食品としての安全性審査、表示も義務づけていません。一方で、特許は認められるので、遺伝子組み換えと同様に種苗等を独占する企業に莫大な利益をもたらします。一般圃場で栽培すれば、花粉などの飛散が起こり、農家の栽培種と交雑するなど、環境への深刻な影響も心配されています。トマト農家などへの風評被害も懸念されます。

ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」に関しても、環境への影響を評価する試験や、食品としての安全性を確認する試験が行われていません。自然や生物の健康へ影響を与えてしまうことを強く懸念する消費者団体、農民団体、食の安心安全を求めるNGOは、同トマトをはじめゲノム編集された生物放出と食品の栽培、流通に強く反対しています。

安全性が確認されていない食品を子どもたちに食べさせることは、許されません。別添資料『ゲノム編集-神話と現実』をご参照いただき、安全性に強い疑念のあるゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の種苗を貴自治体内の福祉施設や教育施設が受け取らないことを強く要望いたします。

呼びかけ団体:

食べもの変えたいママプロジェクトみやぎ(食ベママみやぎ)

生活協同組合あいコープみやぎ

要望書への賛同者登録はインターネットでも可能です>>  
SNS等で拡散にご協力ください!

